

志木第二小学校「たんぽぽ学級」って こんな学級です

特別支援学級（たんぽぽ学級）担任

1 障がいって何？

病気やケガの中には、治療して治るものがたくさんあります。これに対して、障がいは、病気やケガのために、体の組織や器官が傷ついたり、失われたりして、人間が社会生活をしていくうえで必要な力の一部がもとに戻らなくなったことをいいます。知的な力、運動する力に障がいがあると、日常生活・社会生活に制限がおこります。

2 どうして障がいになるのか

- お母さんのおなかの中で（遺伝子、薬）
- 生まれてくるときに（難産）
- 生まれたときに（病院で酸素過多）
- 乳児期、幼児期（病気、高熱）
- 青年期以降（労働災害、交通事故）
- 老化

3 障がいは軽くすることができる

障がいを軽くするための援助をしていく学級です。障がいがある人にとって、その生きる社会や、まわりの人のありかたが、障がいを重くもし、軽くもするのです。どの子供たちも発達し、成長していきます。

4 特別支援学級って

子どもたちは、発達に合わせて、ゆっくりていねいに学ぶことによって、できることがたくさんあります。何学年かがまとまって、一緒に学んでいます。一人ひとりの子にわかりやすいように、楽しくゆっくりていねいに教えます。教材は、学びやすく楽しいものを担任が選んだり、作ったりします。

（参考文献 大月書店 障害を知る本）

5 「たんぼぼ学級」では

今年度（令和2年度）の志木第二小学校には、1年生2名・2年生2名・3年生1名
4年生2名・5年生3名・6年生3名の計13名の児童が在籍しています。

知的学級 4名

自閉症・情緒学級 9名

<学習形態>

一人一人の実態に即して、学習形態、学習内容を計画していきます。

一斉指導、個別の指導で取り組みます。

<指導内容>

各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、自立活動

領域教科を合わせた学習

日常生活学習、生活単元学習、遊び学習

子供たちは、社会で生活していくうえで必要な基本的な生活習慣を身につけることを大切にしています。学習はゆっくりとした、発達に合わせて興味を持って取り組めるような題材を考えて指導していきます。

6 志木第二小学校の中のたんぼぼの子供たち

志木二小のたくさんの子供たちが、たんぼぼ学級の子供たちに声をかけてくれます。休み時間や様々な学校行事の中でかかわりを持っています。

たんぼぼの子供たちは、交流学級として、通常学級にも所属し、一緒に活動する場があります。また、子供の実態と照らし合わせながら、交流学級の学習に参加します。

通常学級と、交流および共同学習で、障がいを理解する学習や遊びで触れ合う学習もていねいに行っています。毎年、1月末頃に行われる市内合同作品「太陽展」に向けて、全校児童と協力して作品づくりを行っています。（今年度は感染拡大防止のため中止）

また、全校の児童との交流給食なども行っています。たんぼぼの子供たちは、多くの児童に支えられ、そしてお互いを認め合い、ともに成長しています。